

★ _____ ★
☆☆★ いわて マナビィ マガジン ★☆☆
☆☆ No.125 2016. 12. 9. ★☆

★ _____ ★
***** I N D E X *****

1. センター便り 『続報！ 人づくり・地域づくりフォーラム』
2. 教振なう！ 『課金の破産は自己責任』
3. 編集後記 ～ピエロが行く！～

★ _____ ★
1. センター便り 『続報！ 人づくり・地域づくりフォーラム』

★ _____ ★
2月2日（木）～3日（金）に開催します「岩手県生涯学習推進研究発表会 ～岩手の人づくり・地域づくりフォーラム 2016～」の概要が確定しましたのでお知らせいたします。

2月2日（木）13:30～16:00 開会行事・研究発表

- (1) 『事業の効率的・効果的な評価と検証のあり方に関する実践的研究』
- (2) 『市町村における教育振興運動の効果的な推進方策に関する実践的研究』

2月3日（金）10:00～15:00 講演・事例発表・閉会行事

- (1) 講演 演題『地方創生における教育の役割』
講師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課長 伊藤学司氏
(文部省・大臣官房政策課を経て、岩手県教育委員会事務局文化課長・学校教育課長、文部科学省生涯学習政策局社会教育課長、長野県教育長などを歴任、2016年より現職)

(2) 事例発表

- ① 『本県における社会教育の今日的役割に関する提言』の説明
県生涯学習審議会会長兼県社会教育委員会議議長 大橋清司氏

② 事例発表

- コーディネーター；当センター生涯学習参与 新妻二男氏
- ア 「久慈市総合政策部地域づくり振興課・山根公民館」
第68回優良公民館（平成28年3月）受賞
 - イ 「玖波公民館」（広島県大竹市）
第67回優良公民館表彰「最優秀賞」（平成27年3月）受賞

12月中旬に、第2次案内（開催要項）の発送を行います。社会教育の今日的な役割を確認し、岩手の人づくり・地域づくりに向けた気運を高めていきたいと考えています。皆様のお越しをお待ちしております。

○岩手県生涯学習推進研究発表会「岩手の人づくり・地域づくりフォーラム2016」

第1次案内はコチラ ⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

★ _____ ★

2. 教振なう！ 『課金の破産は自己責任』

★ _____ ★

- (振ちゃん) 教ちゃん、どうしよう～。もうすぐ2学期が終わるよ～。
- (教ちゃん) そうね。クリスマスまであと2週間ね。
- (振ちゃん) 教ちゃんは暢気だな～。その前に、恐怖の通信簿が～。
- (教ちゃん) だって、わたし失敗しないから！
- (振ちゃん) ゲゲッ！強気だ。通信簿もスノればいいのに・・・。
- (教ちゃん) スノるってどうするの？
- (振ちゃん) 1を煙突にして、2をアヒルにして・・・。
- (教ちゃん) よき、よき。・・・って、そのままじゃない。
- (振ちゃん) 給食を3人分食べるとか、遅刻ギリギリでセーフになるとか・・・得意なんだけどな～。
- (教ちゃん) そうね。振ちゃん、ちょっと神ってるもんね。
- (振ちゃん) 卍～！
- (教ちゃん) 振ちゃんと一緒にいて楽しいし、クラスの人気者よ。
- (振ちゃん) マ？教ちゃん、アモーレ！BFF～！
- (教ちゃん) 通信簿にだって、きっと生活面の良いところがいっぱい書いてあるわよ。
- (振ちゃん) そうだよな。ぼくだって2学期中「ポケモンGO」ばかりやっていたわけじゃないんだ。友達といっぱい遊んで、授業中もみんなを盛り上げたしね。
- (教ちゃん) ゲームばかりやって課金は大丈夫なの？アメリカの調査会社によると日本は世界一課金額が高いのよ。1か月平均約2,900円(24.06ドル)なんだって。2位の韓国の約2倍でダントツの1位なのよ！
- (振ちゃん) ぼくは大丈夫だけど・・・。ゲームの課金で借金をして、破産する人が増えているって聞いたことがあるよ。
- (教ちゃん) そうなの。しかも、ゲームの課金はギャンブルや浪費と一緒にだから、自己破産の申請をしても免責が許されないのよ。「借金の支払い義務がなくなる」ということはなく、借金はすべて残るんだって。
- (振ちゃん) 「自分で遊んで使ったのだから、自分で返しなさい」っていうことだよな。子どもにも、しっかり教えないとね。
- (教ちゃん) 上手に付き合わないと大変なことになるってことよね。気をつけようね、振ちゃん！
- (振ちゃん) おけまるっ！
- (教ちゃん) 先日、2016年新語・流行語大賞が発表されましたが、そこに女子高生流行語大賞2016(め〇ましテレビ；ココ調)を織り交ぜました。いくつわかりましたか？
- (振ちゃん) あっ、今気がついた。課金も成績も自己責任ってこと？



3. 編集後記 ～ピエロが行く！～



花巻東高校出身のプロ野球選手「大谷翔平」君。二刀流の活躍で投手とDH（打者）の両方でベストナインに選ばれるほか、パ・リーグのMVP（最優秀選手）を受賞しました。いわて国体における県選手団の活躍同様に本県にとって喜ばしいことであり、子ども達に夢と希望を与えるものと思っています。

大谷君が所属する球団「日本ハム」の主力選手は高校から入団した選手が多く、球団は選手を独自のプログラムにより自前で育てることを基本方針としています。高校からの入団は5年、大学・社会人からの入団は2年を育成期間として入寮を義務づけ、入寮後最初の休日は「本を買いに行く」というきまりがあるのだそうです。

そして、「野球で成功するためにはいろいろな考えを身につけることが大事であり、そのために手っ取り早いのが読書である。習慣づけるために時間を設けている」と寮での朝食後10分間は読書タイムとなります。また、自分と向き合うために毎日日誌をつけるとともに、シーズン中に2度「長期目標」を紙に書いて貼り出すそうです。それは寮の自分の部屋だけではなく、他の選手が目にするロッカールームにも貼り出すことで、自分の言動に責任感を持たせ自覚を促すのだと言います。

その他、分野の違う“その道のプロ”の外部講師の講義を聞いて、感想文を必須とすることで意識の向上を図り、最初の1球目を大切にすることで積極性・主体性を促しています。ノックの最初の1球目を捕らなかつたり、打撃練習の1球目を打たなかつたりするとグラウンドから追い出されることもあるそうです。読書・日誌・目標・学ぶ姿勢・取り組む意識等、人材育成や学校現場においても参考となる話だなと感じたところです。



このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。⇒ E-mail ; atu-satou@pref.iwate.jp

メルマガのバックナンバーをセンターHP「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

左下の「発行物・刊行物」>「いわてマナビマガジン」をクリック



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口2-82-13）

編集：佐藤敦士